

上智大学 公開講座 in 福岡



Sophia Akademeia in Fukuoka 2012

第1回公開講座

『現代における グローバル化の諸相』 ～グローバル社会を読み解くために

[日時] 9月1日(土) 14:30～(開場14:00)

[場所] 上智福岡中学高等学校 ザビエルホール(中央棟4F)

講師: 音 好宏 上智大学文学部新聞学科教授・新聞学科長
おと よしひろ

〔講座紹介〕 昨今、「グローバル化」「グローバル社会」というコトバをよく耳にしますが、私たちは、メディアからの情報を通じて「グローバル化」や「グローバル社会」を眺め、イメージすることが多いようです。

とすれば、メディアが提供するメッセージの読み解き能力(メディアリテラシー)を高めることが、「グローバル化」や「グローバル社会」をより深く、多角的に考えることにつながるのではないのでしょうか。グローバル社会の読み解き方を考えてみましょう。

〔プロフィール〕 1961年、札幌生まれ。
1990年、上智大学大学院博士後期課程満期退学。
日本民間放送連盟研究所勤務を経て、
1994年、上智大学新聞学科講師。
助教を経て、1997年より現職。
衆議院総務調査局調査員、放送大学客員教授を兼務。

専門は、メディア論、情報社会論。
著書に『グローバルメディア革命』、
『総合的戦略論ハンドブック』(以上、編著書)
『放送メディアの現代的展開』、
『それでもテレビは終わらない』などがある。

第2回公開講座

『東日本大震災と外国人』 ～フィリピンの人たちを中心に

[日時] 9月8日(土) 14:30～(開場14:00)

[場所] 上智福岡中学高等学校 ザビエルホール(中央棟4F)

講師: 寺田 勇文 上智大学外国語学部教授・学部長
てらだ たけふみ

〔講座紹介〕 東北被災地で暮らしていたフィリピン人(日本人の男性と結婚した人たちは、被災後、帰国もできず言葉に不自由ながらも被災地で生活再建のためにたちあがっているということのスライドで紹介しながら、グローバル化と多文化社会の将来について考えます。

〔プロフィール〕 東南アジア学会会長。専門は文化人類学、東南アジア研究。フィリピンの民衆カトリシズム、第二次世界大戦期のフィリピン、在日フィリピン人社会、東南アジアの食文化等に関心を持つ。主な著書に、『東南アジアのキリスト教』(めこん、2002年)、『現代フィリピンを知るための61章(第2版)』(共編、明石書店、2009年)、『グローバル化のなかの宗教: 衰退・再生・変貌』(共編、上智大学出版、2010年)。

●お問い合わせ先●

上智福岡中学高等学校 教育提携推進委員会

〒810-0032 福岡市中央区輝国1-10-10 電話 092-712-7181 担当: 吉竹

※校内には駐車スペースがございません。御来校の際には公共交通機関のご利用をお願いいたします。